

六月三十日に、くすせいそうセンターへ、
社会見学に行きました。

わたしは社会で、ゴミのしまつたついでにの
学習をした時、し料の「くすせいこのえ」でゴ
ミの量のうつりがありのグラフを見ました。
「くすせいこのえ」を見ると、人口はへいてい
るのに、ゴミの量がふえていることかあがり
ました。しかし、二〇〇九年より後のグラフ
はないので、今ゴミの量はどうかっているの
かき問に思いました。そこで、

○ 今のごみの量はどのくらいか
○ ゴミはどうやってしよ分するのか
を調べてまとめました。

一、ごみしよ理場の様子

(1) しせつについて
くすせいそうセンターは、かおん物のしよ

理場、ふおん物のしより場、最終しよ分場の
三か所に分かれています。

(2) かおんしよ理場について

かねん物のしよ理は、パツカー車か運んで来たかねんゴミをプラツトホームにあるゴミピツトの中に入れます。ゴミピツトの中は、大きくて、深いあなになっていて、かへに目もりがついていました。この目もりで、ゴミの量がわかるようになっていきます。入れたゴミを中央せいぎよそう作室から見ても、ごみワレインのバケツトでよくませます。そうすることでも、いろんな種類のゴミがまざるので、もえやすくなることかわかりました。

よくませたゴミを、バケツトで二つのしようきやくろの投入ホツパに入れます。ホツパのゴミは、おしこみそう置でゴミをおし、かねんそうストーカ、かねんしようストーカ、後ねんしようストーカと順番に焼いていきます。実さいに焼いている所を見せてもらったら、真ッ赤な火が、ごうごうともえていました。その中に、ヒンや鉄のパイプが入っていました。

かねんしよ理場なのに、ふかねんゴミが入

ていることから、ゴミを分けずに出して
いる人がいることわかりました。

ストーカの中の温度は、およそ九百度だ
うです。八百度以下になるとよくもえな
いで、黒いけむりが出ます。それは、や
け残ったはいかもえ残りとなって、残
っていますからです。これが公害の原
因の一つだということです。とも教
えてもらいました。

ストーカから出たときにあつた九百
度の熱は、十六秒ぐらいで百十度まで
下げて、え

んとつから外へ出します。えんとつ
から出ているけむりは、ダストを取
りのぞくしよ理をしているので、
とう明です。工場から外へ出
すものへ水、空気、においなど
は、きれいになじようたいで外へ
出すことにくすせいそう
センターでは心かけている」と
言っています。

(3)二〇一五年度的かおんごみの量

くすこのえで去年一年間に出た
かおんごみの量は、六千七百ト
ン。パツカー車、三千

三百五十台分になります。この量は、くすこのえで調べた二〇〇九年とほぼ同じです。くすこのえの人口が二万六千二百八十人なので、一人が出すごみの量は、ふえていることかわかりました。

(4) ふねんごみしよ理場について

ふねんゴミのしよ理場は、かねんごみのしよ理場のとなりにありました。

ふねんゴミは、種類によって、一分別、二分別、三分別、四分別の四つに分かれていま

す。一分別は、ペットボトル、アルミかん、スチールかん、ビンなど分けてさい利用される物です。第三分別は、金物などふひんごとに分けてリサイクルかてきる物です。四分別は、しげんゴミなので、あらってさい利用します。それぞれをセツトであつめて、種類ごとにしよ理をしていきます。

一分別しよ理の仕方は、機械に通してビン、スチールかん、アルミかん、ペットボトルに分けます。

まず、ゴミぶくろやビン、カン以外のゴミを手で取りのぞきます。よこれたペットボトルは、かねんゴミのピットへ入れます。

次に、スチールかんを取り出します。スチールかんは、じ石でくっつくといふとちよ
うをもっているのです。大きな石でくっつけ
て分別をしてみました。じ石にくっつかない
アルミかんは、電気のカで飛ばして分別しま
す。ビンは、ベルトコンベアにのせて、カレ
ットという機械に通します。機械の中で、一
じかんにはビンの色を見分けて、白色、茶色、
緑、青、その他に分けられています。

しよ理場ではたらいにいる人は、中身が入
っているとわかりにくいと言っていたので、
からっぽにして、中をきれいにしてほしいと
言っていました。

アルミかん、スチールかん、ペット
は、同じ種類でかためられて、ロツカーくら
いの大きさのかたまりになっていました。

第二分別のゴミは、電池やけいこうとう、

けしよ うピンなどです。そのしよ理方法は、
さい利用できないし、もやせないのてうめた
て地に持って行きます。

(5)最終しよ分場について

うめたて地は最終しよ分場と言われている、
二分別のゴミやかねん物でもやした後に残つ
たはいをかためてうめたて地に持って行きま
す。清そうセンターのうめたて地かい、はい
になつたら、使えなくなるという話を聞きま
した。私は、ものを大事にして、すてないく

ふうを考えなければならぬと感じました。

二、見学のあとで調べたこと

せいそうセンターでは、リサイクルするた
めに分別をたくさんしていることを知りまし
た。

見学をしたあと、どんなものかどのようにな
ものリサイクルされるのかを調べました。
すると、牛にゆうパツクは、トイレトペー
パーに、かんは車のアルミの部分やびんに

ビンは道路を作るさいりょうに、ペットボトルは服やかはんにリサイクルされることかあかりました。

三、まとめ

わたしは、せいそうセニターにうめたて地があることを知りませんでした。でも実さいに見学させてもらうと、うめたてちがあることを知りました。うめたて地はい、ばいにならうたら使えなくなることかあかりました。う

めたて地が使えなくなるとうゴミかすてられなくなつてこまるな。と思いました。そうならないうようにまた使えるものは、使いきつてしまおうと思いました。

また、しょうきくろの中を見せてもらつた時に、真っ赤な火かもえている中、ビンがてつなじかがけ残っているのか見えました。ビンがてつか入っているときけんなので、すてる時に、きちんと分別をしなけれはならなはと思ひました。家でも気をつけたいです。